国際文化交流学部

# 教育研究上の目的

学習院女子大学は、国境・民族・文化を越え、人類の平和と文化の発展を希求し、地球的視野から人類が歩んできた過去及び進むべき未来を研究教授し、その深奥を極めるとともに、社会と手を携えつつ、人格の陶冶と情操の涵養を図り、時代を先導する女子の創造的リーダーを育成することを目的としています。

■日本文化学科

日本文化学科は、日本文化に対する広い知識と深い理解の上に立って、国際感覚と高い言語能力を身につけ、世界に向けて日本文化を発信するとともに、その継承と発展に寄与する人材を育成することを目的とする。

■国際コミュニケーション学科

国際コミュニケーション学科は、国際関係と異文化に対する広範な知識と深い理解力、併せて高度の言語並びにコミュニケーション能力の習得を通して、国際社会に積極的に貢献する人材を育成することを目的とする。

■英語コミュニケーション学科

英語コミュニケーション学科は、英語による高度なコミュニケーション能力を有し、豊かな国際的教養と論理的思考力を備え、国際・情報化社会で活躍する人材を育成することを目的とする。

# カリキュラム・ポリシー（教育課程編成方針）

■学部共通科目

国際共通語としての英語（外国語科目１群）と他の主要な言語（同２群）を開講し、国際的なコミュニケーション能力を養います。また、初年次の基礎能力を育成する目的で、日本語表現法や情報処理などの科目や、グローバルな視点を深め、異文化理解を進めるために国際文化交流論、人間関係論、自然環境論、スポーツ・健康科学などの科目を開講しています。さらに、国際文化交流の基礎となる日本の伝統文化や生活文化についての演習形式の科目を多様に設置しています。加えて、国際人としての資質を養い、様々な文化を学ぶには、外国での生活体験が重要であるため、海外研修などの科目を設けています。

■日本文化学科

日本文化学科の教育目標の柱である「日本について知ること」を実現するために、「芸術・思想」「民俗・歴史」「現代社会」「比較文化」の４つのフィールドを総合的に、また個別に学習して、日本文化の伝統と特質について十分な理解が得られるように教育課程を編成しています。また、その学習の過程で修得した知識を世界に向けて的確に発信する能力を培うために、日本語以外の言語や情報処理、日本語表現法などの科目と連携を図っています。さらに、「専門演習」や「卒業論文」などの指導を通じて、日本について多面的、専門的な分析を行って、国際社会で活躍できるスキルを身につけた人材を育成します。

■国際コミュニケーション学科

国際コミュニケーション学科は、国際社会で活躍するために必要な知識とコミュニケーション能力、豊かな国際感覚を身につけるための教育課程を編成しています。始めに、基礎的学習能力、問題解決能力を養い、教養を高めるために、本学科の教育目標の柱となる「国際関係」「比較文化・地域研究」「コミュニケーション」などの専門科目を段階的に履修し、学際的な認識と理解を深めます。さらに、専門性の高いテーマについて、「専門演習」や「卒業論文」などの指導を通じて様々な問題の発見と分析および解決能力の修得を図り、国際社会で活躍できるスキルを身につけた人材を育成します。

■英語コミュニケーション学科

英語コミュニケーション学科では、国際共通語としての英語によるコミュニケーション能力を養い、国際社会で活躍するための教養と日本文化を基軸とした異文化理解を深め、論理的思考力を養う教育課程を編成しています。英語の「４技能」（読む、書く、聞く、話す）をバランスよく向上させ、アカデミック・レベルの諸能力の習得を目的としています。また、必修科目の「カナダ研修」（６か月間）では、大学の講義などを英語で受講し、帰国後、他学科の「地域文化」「国際関係」科目を履修して外国文化と国際情勢の知識を拡張します。さらに「専門演習」と「卒業論文」などの指導を通じて、国際社会で活躍できるスキルを身につけた人材を育成します。

## ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）

本学および各学科の理念・教育目標に基づくカリキュラムを履修して、卒業に必要な単位を修得した学生には、以下１～３の能力を備えた人材であると保証し、卒業を認定して学位を授与します。

■日本文化学科

１．日本文化の伝統や特質に関する十分な知識と見識を備え、問題の発見・分析・解決に必要な能力を身につけていること

２．日本文化に関する知識、見識を諸外国・諸地域に向けて的確に発信するスキルを身につけていること
３．多様な文化について理解し、幅広い視野を持ち、国際社会で活躍できる教養、品格を備えていること

■国際コミュニケーション学科
１．日本文化や国際社会の特質に関する十分な知識と見識を備え、問題の発見・分析・解　決に必要な能力を身につけていること
２．国際社会や異文化に関する知識と見識を諸外国・諸地域に向けて的確に発信できるスキルを身につけていること
３．多様な文化について理解し、幅広い視野を持ち、国際社会で活躍できるコミュニケーション能力や表現能力と品格を備えていること

■英語コミュニケーション学科
１．国際的に活躍するための実践的な英語力を十分に備えていること
２．日本文化や異文化の特質に関する十分な知識と見識を備え、問題の発見・分析・解決に必要な能力を身につけていること
３．多様な文化について理解し、グローバルで高度な英語コミュニケーション能力を持ち、国際社会で活躍できる教養、品格を備えていること

国際文化交流研究科（国際文化交流専攻）

## 教育研究上の目的

本大学院は、国際文化交流に関わる学部教育の基礎の上に、高度にして専門的な学術の理論及び実践面への応用を教授研究することを通じて、アートマネジメント・文化交流及び国際協力・国際開発の専門家の養成、並びにそれらに関わる学術研究の専門家の養成を目的とする

## カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー

本大学院は、文化マネジメント・文化交流及び国際協力・国際開発の専門家の養成、並びにそれらに関わる諸領域の学術研究の専門家を養成することを目的として、「文化マネジメント」「国際協力」「日本学・比較文化」「国際関係・地域研究」の４つのプログラムを設けています。
「文化マネジメント」プログラムでは、文化の創造・普及活動の現場において、企画・制作・運営を担当するための専門知識と技術獲得を目的とし、「国際協力」プログラムでは、地域の自

然環境や文化・価値体系への配慮、国際関係への理解等の国際協力に必要な専門知識及び能力の養成を目的としたカリキュラム編成をしています。また、「日本学・比較文化」プログラムでは、歴史的な経緯と現代の状況を踏まえた比較文化の視点をもって日本の伝統文化と現代文化への深い習熟を目指し、「国際関係・地域研究」プログラムでは、諸外国・諸文化との相互理解をより専門的に追究することを目指してカリキュラムを組んでいます。

上記のカリキュラム・ポリシーに基づいて、目的達成のために、以下の能力を修得し、本大学院の定める修了要件を満たした者に対して学位を授与します。

**修得すべき能力**

１．変化の著しい国内外社会にあって、広く深い知識を備え、専門分野における諸問題解決に向かって、客観的かつ論理的・創造的な研究を行う能力

２．国内外の組織で専門的に活躍するための企画・立案や統計処理、報告書作成等のスキル

**修了要件**

国際文化交流研究科を修了して修士（国際文化交流）の学位を得るためには、下記の要件を満たさなければなりません。（大学院学則第１８条参照）

１．原則として２年以上在籍すること

２．履修規定に則って３０単位以上を修得すること

３．修士論文又は特定課題研究報告書を提出し、かつ、最終審査に合格すること

**修士論文に求められるもの**

１．先行研究の十分な調査に基づく独自性

２．理論的かつ実証的な分析

３．論文としての技術的要件の充足

**特定課題研究報告書に求められるもの**

１．研修計画の高度な専門性

２．先行研究の十分な調査に基づく研究

３．「海外特別研修」又は「インターン研修」での活動に裏付けられた理論的かつ実証的な分析

４．研究報告書としての技術的要件の充足